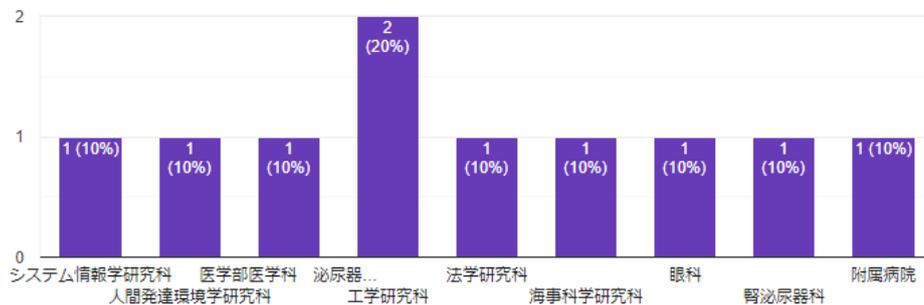


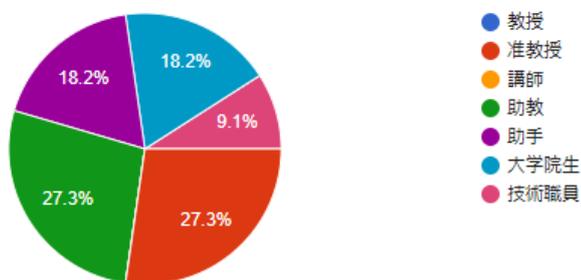
所属

10件の回答



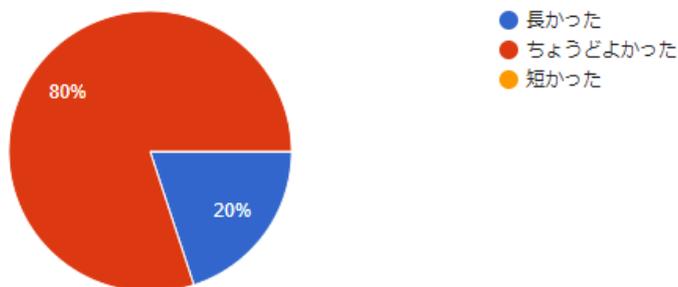
職位

11件の回答



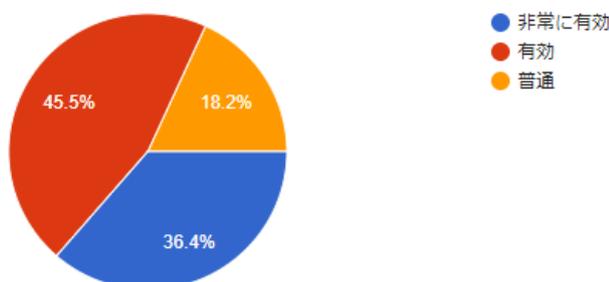
1) セミナーの時間の長さはいかがでしたか

10件の回答



2-1) セミナーの内容について、ご感想をお聞かせください

11件の回答



2-2) 2-1)の回答の理由をお書きください

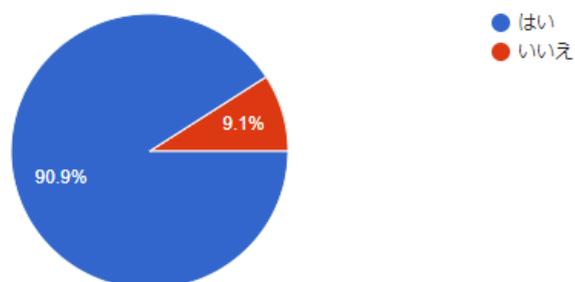
- ・他人の記載した書類を見てとても勉強になった
- ・他の申請者の計画書を見ることができ非常に勉強になりました。他方で、計画書への改善・助言について、申請者同士の意見交換は今回の様に若手や経験の浅い申請者だとの確な助言になっているのか疑問が残りました。より経験のある指導者の助言や、事務的な観点からのアドバイスなどがあるとより参考になると思いました。また、異分野との意見交換は非常に勉強になりつつも、他の分野

から見て違和感があっても、その分野では気にならない点もあると思うので異見しにくい部分も多かったです。

- 言葉の捉え方が分野によって少しずつ違うことが実感されました。審査員も多分野から構成されているので、慎重に言葉を選びながら申請書を作成する必要があると感じました。また、各項目の分量も分野によって異なる（重視される内容の違い）ことも勉強になりました。
- 申請書を初見で読んで、内容を理解し問題点を指摘するには、申請書を読む時間が短く、その分議論に深みがなかったように思いました。また2時間は長すぎました。
- 専門の異なる方々から読みにくい点についてのポイントを指摘いただき参考になった。
- 他の方の申請書を拝見し、書き方の参考になる点がいくつかあった。
- 申請書の課題についていくつか意見をいただくことができました。ありがとうございました。ただ、申請書の一部しか意見が頂けなかったことと、専門外の方が多く実際に審査される方とは違った視点になるかもしれないと思い、「非常に有効」にはしませんでした。
- 添削によって問題点が具体的に分かったため
- 様々な専門の先生方の申請書を比較することで、どのような文体や書き方が瞬時に分かりやすい申請書なのかをより理解することができたように思います。

3) 今年度の科研費に申請予定ですか

11件の回答



4) 本セミナーに対するご意見、ご要望等（開催時期・開催方法など）

- 日本語の申請書ですら書き方を悩むので、英語の申請書は解釈が難しかったので、一番最後で疲れていたのかもしれないが、英語は英語で会を改めたほうがいいかなと思いました。それ以外、グループ分けや、意見を出し合うシステムなどとてもよかった。今回実際に査読をされていた重村先生の意見をもう少し聞いたかったなと思いました。つまり、実際に査読された先生の意見もあるとさらにいいと思いました。忙しい先生が多いので難しいかもしれませんが。。
- 科研費以外の公的な助成金、AMED や JST など、でも同じような計画書の書き方のセミナー等があるとありがたいです。
- 今回、Word ファイルで一部ご提示いただけただけだったので、PDF に項目ごとにまとめるよりも各項目の分量の違いを知ることができました。分野によってどの項目をより詳しく書くべきかは異なると思いますが、文章の構成を考える上で参考になるご提示方法だったと思います。
- 昨日はお忙しい中、企画をいただきありがとうございます。参加者同士でお互いに意見を言い合う機会でしたが、自分の専門とは異なる分野の申請書を初見で読んで（特に3人目の方は英語の申請書）、問題点や改善点を指摘するのは、まだ申請書を書いている私の様な初心者には難しかったです。申請書の内容すべてを開示するのは難しいとは思いますが、可能な範囲で事前に参加者へ公開の方がより有意義な議論になるのではないかと思います。もしくは、URA の担当者など修正・校正に慣れている方が意見や問題提起をし、それに対して参加者が議論するような形がよいのではないのでしょうか。
- 今回、私も申請書を皆さんにご確認いただきました。昨年度申請して落選したものに若干の修正を加えて今回提出させていただきましたが、今回のセミナーで自信をもって提出できるようになったとは、あまり思いませんでした。
- もっと厳しい意見をいただいてもよかった。気を使ってポジティブな意見もしくはネガティブでも攻撃的にならないように、との方向性を出されていましたが、参加されている方は科研を当てたい強い気持ちで参加されているので、あまり気を使うことなく厳しい意見が出た方が参考になるのではと感じました。
- ありがとうございました。